

平成 26 年 度

幼稚園教員資格認定試験

教職に関する科目(Ⅱ)

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 26 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、幼稚園の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、すべて解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 60 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を持ち帰ってもかまいません。 (悪い例) ⊗ ⊗ ⊕ ⊙

問 1 『幼稚園教育指導資料第 1 集 指導計画の作成と保育の展開』(平成 25 年 7 月改訂)の「第 1 章 指導計画作成に当たっての基本的な考え方 3. 小学校の教育課程との接続と指導計画 (2) 円滑な接続と指導計画」では教育課程編成上の留意点として、「幼児期、特にその終わりにおける学びの基礎力の育成において重要なことは、幼児が人やものに興味をもち、かかわる中で様々なことに気付くとともに、それらを深め、広げていく過程で、自己発揮と自己抑制を調整する力を育むことであり、それらを通じて、個人として、また社会の構成員としての自立への基礎を養うことです。」と示され、「三つの自立」を養うことが必要だとされている。この「三つの自立」に関する記述の組合せとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

	①	②	③
ア	学びの自立	社会的な自立	精神的な自立
イ	遊びの自立	生活上の自立	社会的な自立
ウ	学びの自立	生活上の自立	精神的な自立
エ	遊びの自立	社会的な自立	学びの自立

問 2 『幼稚園教育要領』(平成 20 年文部科学省告示第 26 号)「第 1 章 総則 第 1 幼稚園教育の基本」において述べられているものとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 教師は幼児との信頼関係を十分に築き、幼児と共によりよい教育環境を創造するように努めるものとする。
- イ 地域や幼稚園の実態及び幼児の心身の発達の段階や特性を十分考慮して、適切な教育課程を編成するものとし、これらに掲げる目標を達成するよう教育を行う。
- ウ 幼児に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる。
- エ 幼児の発達の段階を考慮して、幼児の言語活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、幼児の学習習慣が確立するよう配慮する。

問 3 『幼稚園教育要領解説』(平成 20 年 10 月)に示される「教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項」に示される内容の組合せとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 教育課程に係る教育時間外の教育活動は、幼稚園在園児で希望者を対象とする教育活動である。
- ② 幼稚園で行う教育時間外の教育活動では、午睡の時間を設け、身体を適宜休ませなければならない。
- ③ 実施の際は家庭での過ごし方に十分配慮をして、子どもたちが無理なく過ごせるように一日の流れや環境を工夫しなければならない。
- ④ 幼稚園で行う教育時間外の教育活動は、入園当初や進級当初において、幼児の心理的不安が高まっている時期には、地域の実態や保護者の要請に応じた教育活動を行う必要がない。

- ア ①と②
- イ ③と④
- ウ ①と③
- エ ②と④

問 4 次の文は、『幼稚園教育要領』(平成 20 年文部科学省告示第 26 号)「第 1 章 総則 第 1 幼稚園教育の基本」において述べられたものである。文中の(①)から(④)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

教師は、幼児の(①)が確保されるよう幼児一人一人の(②)の理解と予想に基づき、(③)環境を構成しなければならない。この場合において、教師は、幼児と人やものとのかわりが重要であることを踏まえ、(④)・空間的環境を構成しなければならない。

	①	②	③	④
ア	具体的な活動	気持ち	計画的に	人的
イ	主体的な活動	行動	計画的に	物的
ウ	具体的な活動	行動	豊かな	物的
エ	主体的な活動	気持ち	豊かな	人的

問 5 次の文は、『幼稚園教育要領』(平成 20 年文部科学省告示第 26 号)「第 3 章 指導計画及び教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項」の中で、指導計画の作成に当たって「特に留意する事項」について述べられたものである。文中の(①)から(③)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

行事の指導に当たっては、幼稚園生活の(①)の流れの中で生活に変化や(②)を与え、幼児が主体的に楽しく活動できるようにすること。なお、それぞれの行事についてはその(③)を十分検討し、適切なものを精選し、幼児の負担にならないようにすること。

	①	②	③
ア	遊 び	楽 しみ	教育的価値
イ	自 然	楽 しみ	文化的価値
ウ	遊 び	潤 い	文化的価値
エ	自 然	潤 い	教育的価値

問 6 次の文中の(①)から(③)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

橋詰良一(1871~1934 年)は、(①)を提唱して、(②)を設立し、その実践に努めた人物である。(②)では、(③)と触れ合って遊ぶことを大事にし、子どもを郊外に連れ出して保育した。

	①	②	③
ア	露天保育	青空幼稚園	遊 具
イ	生活保育	青空幼稚園	自 然
ウ	露天保育	家なき幼稚園	自 然
エ	生活保育	家なき幼稚園	遊 具

問 7 次の文は、『幼稚園教育要領』(平成 20 年文部科学省告示第 26 号)「第 2 章 ねらい及び内容」の領域「環境」における「内容の取扱い」である。文中の(①)から(③)に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

数量や文字などに関しては、(①)の中で幼児自身の(②)に基づく体験を大切にし、数量や文字などに関する興味や関心、(③)が養われるようにすること。

	①	②	③
ア	遊 び	意 欲	感 覚
イ	日常生活	意 欲	能 力
ウ	遊 び	必要感	能 力
エ	日常生活	必要感	感 覚

問 8 次の〔A群〕の童謡作品と〔B群〕の作曲者及び作詞者の組合せとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔A群〕

- ① お正月 ② かわいいかくれんぼ ③ シャボン玉 ④ ぞうさん

〔B群〕

- a 野口 雨情 b まど・みちお c 瀧 廉太郎 d 中田 喜直

	①	②	③	④
ア	d	b	a	c
イ	c	b	d	a
ウ	c	d	a	b
エ	d	c	b	a

問 9 次の文は、絵画製作の表現技法を説明したものである。この説明の用語として最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

紙に絵の具を塗り、その紙を二つ折にしたり、別の紙に押し付けたりすることで、塗った絵の具を転写する技法のことである。偶然にできる模様や形状を楽しむことができるのが特徴であり、合わせ絵などとも呼ばれる。

- ア バチック
- イ デカルコマニー
- ウ スクラッチ
- エ コラージュ

問10 パーテン(Parten, M.)の遊びの種類のうち適切ではないものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ひとり遊び
- イ 伝承遊び
- ウ 連合的な遊び
- エ 平行遊び

問11 ウェクスラー(Wechsler, D.)により発表された検査法であり、言語性検査と動作性検査により知能構造を分析的に捉えた幼児用の知能検査法について最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ビネー式知能検査
- イ K 式発達検査法
- ウ WPPSI
- エ 乳幼児精神発達診断法

問12 次の〔A群〕の障害にかかわる症状と〔B群〕の説明文の組合せとして最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

〔A群〕

- ① チック ② かんもく ③ 吃音 ④ てんかん

〔B群〕

- a 脳にある神経細胞の異常により、痙攣などの同一の症状が反復して起こることをいう。
b 神経性習癖の一種であり、まばたきを繰り返す等、体の一部分が常習的に繰り返し動いていることをいう。
c 会話をする際に、語頭音を連発したり、音節を不自然に引き伸ばしたり、ことばを出せずに間があいてしまうなど、発話がスムーズにいかない状態をいう。
d 音声による言葉を発しない状態をいう。

	①	②	③	④
ア	a	d	c	b
イ	b	d	a	c
ウ	b	d	c	a
エ	a	b	d	c

問13 次の各文は、『幼稚園教育指導資料第3集 幼児理解と評価』（平成22年7月改訂）において、家庭の情報を得るために保護者との教育相談を行う際に配慮する点について述べたものである。適切でないものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 幼稚園で起こる問題については、幼稚園だけでなく家庭、地域と協力して解決するという姿勢で行う。
イ 家庭での生活の様子を知ることはその幼児の指導を考えるために全て役立つので、あらゆる情報を保護者から聞く。
ウ 保護者の願いや思いを尊重しながら、教師としての考えを伝える。
エ 幼稚園での幼児の行動や言動について気になったときは、その問題を保護者に伝え、一緒に考える。

問14 『幼稚園教育要領解説』(平成20年10月)の「第3章 指導計画及び教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項」において、子育て支援について述べられている。その内容として最も適切なものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 地域の人々からの子育て支援のニーズを最優先して幼稚園の教育課程を実施する。
- イ 幼児の虐待などの可能性がある場合に児童相談所などに通告することは、守秘義務に反することになる。
- ウ 地域の実態や保護者の要請に応じて創意工夫し、子育ての支援活動をできるところから着実に進める。
- エ 通園する幼児の保護者のみが利用できるような雰囲気をつくり、保護者が幼児教育に関する専門的な知識を獲得できるようにする。

問15 『幼稚園教育要領』(平成20年文部科学省告示第26号)「第1章 総則 第2 教育課程の編成」に示されている内容として適切ではないものを、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 各幼稚園においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びに幼稚園教育要領の示すところに従い、創意工夫を生かし、幼児の心身の発達と幼稚園及び地域の実態に即応した適切な教育課程を編成する。
- イ 幼稚園においては、各都道府県の教育委員会の指導を受け、その地域の特色を生かした教育課程を編成することが義務付けられている。
- ウ 教育課程においては、幼児期の発達の特性を踏まえ、入園から修了に至るまでの長期的な視野をもち、幼児にとって充実した生活が展開できるよう配慮しなければならない。
- エ 一日の教育時間は4時間を標準とするが、幼児の心身の発達程度や季節などに適切に配慮しなければならない。